

平成 30 年度 (2018 年度)

金沢大学大学院法務研究科

入学試験問題

刑 法

B 日程入試

(注意)

1. 問題冊子 (表紙を含む) は 2 枚です。
2. 問題冊子は指示があるまで開かないで下さい。
3. 問題冊子と下書き用紙は持ち帰って下さい。
4. 解答は、鉛筆、シャープペンシル、ペン、ボールペンのいずれで記入しても構いません。

平成 30 年度（2018 年度）金沢大学大学院法務研究科入学試験問題

| | | |
|------|---|---|
| 試験科目 | 刑 | 法 |
|------|---|---|

問題 判例の立場を踏まえつつ、以下の設例における X の罪責を論じなさい（特別法違反の点を除く）。

ミリタリーマニアであった X は、警察官を襲って本物の拳銃を手に入れようと考え、単独で警ら中であった警察官 V に背後から近づき頭部を手拳で 2 発殴った（V に怪我はなかったものとする）。V がひるんだすきに X は V が腰に所持していた拳銃を抜き取ったところ、V が拳銃を取り返そうと X に掴みかかってきたため、X は咄嗟に殺意を抱いてその拳銃を V に向け引き金を引いた。しかし、通常は始業前の点検において実弾を装填しておくべきところ、その日 V は上記点検を怠っていたため、拳銃に実弾は入っていなかった。X はその場で V により取り押さえられた。